

統合計測システム

センサー・インターフェース  
**Sensor I/F SI1000**





## ■ 簡単設定

計測の設定は基本的に背面のつまみでサンプリング周波数を選ぶだけです。サンプリングの際に発生する折返しノイズ（エイリアシング）を除去するためのフィルタも自動で切り替わるため、すぐに実験に移れます。

\* サンプリング周波数は、LPF（アンチエイリアシングフィルタ）とは別にソフトウェア上で自由に設定することも可能です。



## ■ 外部機器との連携

別の計測システムを既にお持ちでそちらで全ての信号を一括で計測したいといった場合には、本機背面のアナログ電圧出力コネクタを利用することで可能になります。 ※アナログ電圧出力コネクタはオプションです。

さらに別機器を使った実験をしていてそこに本機を計測器として追加したいといった場合には、本機背面のトリガ入出力端子を利用すれば計測開始のタイミングを同期させることができます。また、同期信号と同時に本体背面のLEDが光りますので被験者と本機を一緒に撮影すれば実験映像との同期を取ることも可能です。



アナログ電圧出力コネクタ  
SMA-BNCケーブルを接続して使います。

トリガ入/出力コネクタとLED  
計測開始タイミング同期用のトリガ信号用。

## ■ カスタマイズと拡張用コネクタ (Extra Port)

センサは弊社製品の標準品の他にフットスイッチや温度計、加速度センサなどお客様のご要望に応じたカスタマイズ品の接続が可能です。ご相談下さい。（センサの特性変更についても相談可能です。）

また拡張用コネクタを使うことでセンサの接続口を延ばすJoint Box や、筋電センサのアレイ電極なども使用が可能になります。



Joint Box



アレイ電極

## ■ 仕様

SI1000 本体	
入力	8ch
入力電圧範囲	最大±5V
センサへの電源供給	±5V（丸形コネクタは5V）
出力	アナログ出力 8ch ※オプションでアナログ出力ありを選んだ場合のみ
出力電圧範囲	最大±10V
フィルタ	LPF：400Hz、800Hz、1.3kHz、2.3kHz（裏面スイッチで切替）
ゲイン	2倍
トリガ入力	SMAコネクタ 3.3Vもしくは5Vのパルスを入力（最大入力範囲±5V）
トリガ出力	トリガ入力に信号を入れた場合：入力信号の+側波形を出力 トリガスイッチを押した場合：押ししている間 約4.7Vの電圧を出力
トリガLED	スイッチを押している間 もしくは トリガ入力に2V以上入力されている間点灯
電源	5V（2A以上必要）（背面「5V 2A」端子 USB type-Cコネクタ） ※モバイルバッテリー推奨
通信	USBポート（背面「PC」端子 micro USBコネクタ）
A/D	分解能 16bit サンプリング周波数 1kHz、2kHz、3kHz、5kHz ※サンプリング周波数はソフトから他の値にも変更可能（Max 5kHz）
サイズ	165mm × 220mm × 50mm ※突起部除く
重量	約 1300 g
PC要求スペック	対応OS windows 10、11 CPU Corei3 3.4GHz以上 メモリ 8GB以上 グラフィック XGA（1024×768）以上 その他 USBポート ×1、DVDドライブ が必要
	※動作を保証するものではありません
ボディカラー	ブラック、ガンメタ（選択は出来ません）

Joint Box	※オプション品	
入力	計 8ch	microUSBコネクタ ×8 もしくは 丸形コネクタ ×4
サイズ	6.5mm × 66.5mm × 28mm	※突起部、クリップ除く
重量	約 76 g	（標準のケーブルを含めると約 228 g）
ケーブル	直径 5.6mm 長さ 2m	（標準）

※ 記載している仕様、デザインなどは予告なしに変更する場合がございます。最新情報は弊社webページをご確認ください。

（有）追坂電子機器

〒720-2124

広島県福山市神辺町川南 2101-3

Web <https://www.oisaka.co.jp>

取扱店